

発行 **大竹辰治事務所**
 日本共産党 区議会控室
 大田区蒲田5-13-14
 電話 5744-1477
 事務所 大田区西蒲田5-9-12
 電話 3735-2611
 自宅 大田区東矢口3-11-19
 電話 3736-4202
 E-mail: tootake@apricot.ocn.ne.jp
 http://www10.ocn.ne.jp/~tootake/

日本共産党大田区議会議員

大竹辰治 ミニレポート



ご意見・ご要望をお寄せください

要支援者への介護予防事業は 安上がりではなく現行事業の継続を

介護保険第6期事業が今年4月から始まりました。要支援1・2の認定者（要支援者）を介護保険事業から外し、各自治体の事業となり、各自治体の取り組みが問題になっていました。大田区の実施は来年度からとなっています。

7月15日の保健福祉委員会で具体的な内容が示され、民間事業者が「大田区シニアステーション事業（仮称）」で行うこと、さわやかサポート（地域包括支援センター）の機能強化と老人いこいの家の再構築と連携することになっています。モデル事業として田園調布、嶺町の2地域で実施することが報告されました。

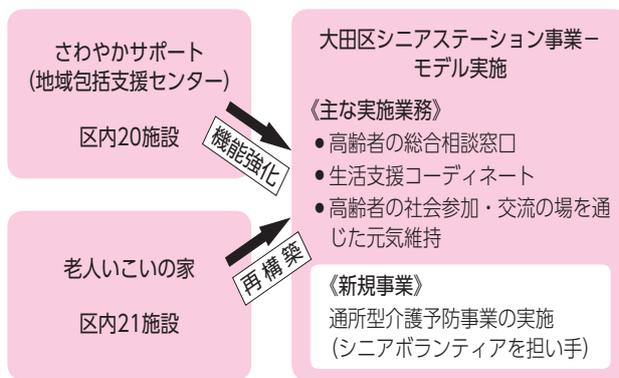
シニアステーション事業は、通所型介護予防事業を「老人いこいの家」の大広間で午前中週1〜2回実施し、大田区の12日間の研修を受けた無資格のシニアボランティアを担い手とするものです。

すでに介護予防事業を受けている要支援者は、これまでの事業者で継続するとしていますが201

7年度までで、その後は不明と担当者が答えています。

党区議団は、国の意向に添った介護給付の抑制や安上がりなサービスではなく、現行の介護予防事業の継続を求めています。

（仮称）大田区シニアステーション事業実施方針



新空港線蒲蒲線 破綻寸前の計画中止を

東京都は7月10日、「広域交通ネットワーク計画について」交通政策審議会答申に向けた検討のま



蒲蒲線中止を訴える大竹区議（第1回区議会臨時会）

うことを求めました。

とめ」を発表しました。3月発表の中間まとめに引き続き、大田区の提案する新空港線「蒲蒲線」が優先的に整備・検討すべき路線から外されました。事業主体が決まっていないうち、京急空港線への乗り入れに技術的な課題があることなどが理由としています。党区議団は、このような実現不可能な整備計画は中止し、20億円の積み立てはやめ、区民施策に使うこと

法律相談

顧問弁護士による法律相談です。
 お気軽にご利用ください（毎月第2水曜日）

9月9日(水)・10月14日(水)
 午後1時～3時

場所 大竹辰治事務所（西蒲田大城通り）

事前にお電話ください ☎ 3735-2611

憲法違反の 戦争法案ストップ



ピースパレードでアピールする党区議団

8月9日、西蒲田公園から日本工学院・東京工科大学までピースパレードが行われました。

集会で宮本徹衆院議員が報告にかけつけました。パレードではドラム、うたごえ、アコーデオンの、三線やプラカード、のぼりを持って住民が参加し、蒲田駅西口バス通り、ロータリーを「戦争法

案反対！」をラップでアピールしました。多くの通行人が、もの珍しそうに見ていました。猛暑の中、約700人が参加しました。

戦争法案廃案へ 超党派で声明発表



7月9日、大田区議会議員有志が会見を開き、政府が成立をめざす安全保障関連法案の廃案を求める声明を発表しました。

大竹辰治区議も日本共産党区議団を代表して見解を述べました。



工学院前でシール投票 党区議団宣伝

6月23日、党区議団は蒲田駅西口の日本工学院前で戦争法案の賛否を問う宣伝・シールアンケートを行いました。結果は85人から回答がありました。

反対が63人(74%)、賛成10人(12%)、わからない12人(14%)となりました。「戦争は絶対反対」(19歳女性)、「9条を守るべき」(18歳男性)など戦争法案に反対の声が多くを占めました。

蒲田駅西口で 大竹区議地域で宣伝

8月8日大竹区議地域が午後4時半から蒲田駅西口で署名・宣伝



「戦争法案廃案」にと訴える大竹区議(蒲田駅西口)

行動を行い、地域から18人が参加しました。

「戦争いやだ〜」という小さいお子さんを連れられたお母さんなど、47人が署名に協力くれました。

区内各団体と予算要望懇談会



各団体と懇談する党区議団

党区議団が区内各団体との予算要望懇談会を7月から行ってきました。

新年度の予算スローガンは、「暮らしよし、訪れてよし、地域力あふれる国際都市おた」を実現するために〜としています。

しかし、懇談のなかでは、障害者施策を見てもとても国際都市といえない等の発言が出されています。党区議団からは、各団体の要望を実現する決意を述べました。